『とらいあんぐる』とは…参画（さんかく）と三角（さんかく）を掛けてつけました。「市民・行政・地域」「教師・児童生徒・保護者」「上司・部下・自分」etc…。いろいろな社会において、常に三者（三角）の関係はとても大切です。この情報紙を発行するにあたって、それぞれの「さんかく」を念頭におき、お互いがトライアングルのように響きあいながら、理解し合えるような社会を築けるよう願いを込めました。

皆さん、男女共同参画という言葉をご存知ですか。

薩摩川内市では、平成１７年４月「男女共同参画基本条例」を施行しました。

この情報紙は、市民の皆さんと意見の交換をしながら一緒に「男女共同参画社会」を築くことを目標にしています。

# 男女共同参画情報紙

## ～わたしたちの望む社会へ～

# TRY とらいあんぐる

第13号

## 特集 薩摩川内市※11回目 男女共同参画フォーラム！

（※合併前の川内市の時から）

平成二十一年十二月五日薩摩川内市国際交流センターにて、「男女共同参画フォーラム」が開催されました。

テーマは〝次世代につないでいきたい男女共同参画社会とは　～仕事と生活のハーモニー（調和）～〟。市内外から全体で約四百人の参加があり、男性の姿も多く見られました。

「一人ひとりが自分らしく生きていくことのできる社会を実現すること」を目指して、男女共同参画基本法施行から十年が経ちました。それが社会に浸透するまでには三十年かかると言われる中、少しずつでも男女共同参画社会の意識が定着することを願い毎年開催されています。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

オープニングは、薩摩川内おどり太鼓の子どもたちによる、勇壮で力強い演奏で始まりました。ＮＨＫ大河ドラマ「篤姫」の挿入曲など、フォーラムの会場全体に元気の花が添えられました。

基調講演（次頁）は、東レ経営研究所社長の佐々木常夫さんが、「私は仕事も家族も決してあきらめない」と題し、〝ワーク・ライフ・バランス〟の実践者として会場の聴衆に語りかけられました。

続いて、三つのワークショップが行われ（三・四頁）各団体の発表や活発な討議がありました。私たちが子どもたちに残せるものは何か、生活の質の向上のためには考え続け、学び続ける大切さを再確認しました。

また同会場で、ピンクリボンＳａｔｓｕｍａせんだい主催の「負ケテタマルカ本田紘輝作品展」も開催されました。本田君の御両親を囲んでのギャラリートークや、心揺さぶる作品に、多くの来場者が足を止めていました。

（オープニング）薩摩川内おどり太鼓

（基調講演）佐々木 常 夫 氏

プチメッセージの掲示板を見る参加者

「本田紘輝作品展」の会場